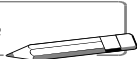


1 国語科の目標



- (1) 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身につけさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身につけさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身につけさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

2 具体的な目標



- (1) 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすることができる。
- (2) 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うことができる。
- (3) 表現の仕方を工夫して、詩歌を作ったり、物語の続きを書いたりできる。
- (4) 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くことができる。
- (5) 書いた文章を読み返し、文や文章を整えて説得力のある文章にすることができる。
- (6) 社会生活に必要な手紙を書くことができる。
- (7) 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について、感想を交流することができる。
- (8) 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について、自分の考えを述べるができる。
- (9) 新聞やインターネット、学校図書館等の施設を活用して得た情報を比較することができる。
- (10) 作品の特徴を生かして朗読などをし、古典の世界を楽しむことができる。
- (11) 小学6年までに学習した常用漢字の読み書き、1学年で学習した漢字を読むことができる。
- (12) 字形を整え楷書で文字を書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くなどできる。

3 【国語科の評価の観点と評価の方法】

観 点	具体的な評価の観点	評価方法
○知識・技能	・伝統的な言語文化・言葉の働きや特徴 ・語句語彙・言葉のきまり・漢字・書写など	プリント・ワーク 小テスト・定期テスト
○思考力・判断力・表現力等	・話題設定や取材・話すこと ・聞くこと・話し合うこと	スピーチ・聞き取りテスト 授業時の発言等
	・課題設定や取材・構成・記述 ・推敲・交流（読み合う・手紙）	作文・小作文 小テスト・定期テスト
	・語句の意味の理解・文章の解釈 ・自分の考えの構成・読書と情報収集	テスト・授業時の学習課題への取り組み
○主体的に学習に取り組む態度	・学習課題に進んで取り組もうとする ・言語生活を豊かにしようとしている	授業の態度・宿題 プリント・ワーク

4 国語科の家庭学習のポイント



- ① 新出漢字や新出語句の意味を調べて、語彙数を増やしていきましょう。
- ② ワークやノートのまとめ直しをして授業の復習をし、漢字も確実に覚えましょう。
- ③ 問題集の中の同じジャンルで異なる文章の問題を解いて、読解力をつけましょう。
- ④ ふだんから、活字に慣れることが必要です。新聞のコラム欄を読み感想を書きましょう。

5 【使用教材】

- 教科書 教育出版 『伝え合う言葉』  
 副教材 『漢字の反復練習』（浜島書店）/ 『よくわかる国語の学習1』（明治図書）  
 『国語便覧』（浜島書店）/ 『すらすら基本文法』（浜島書店）  
 『単元別漢字マスター』（学宝社）

単元・教材（1年生の学習内容：140時間）

	単元と学習の内容	学習のねらい（一部を示す）
前	1 単元「学びをひらく」 オリエンテーション ・聞くということ ・桜蝶 ・お気に入りの一品を紹介する ・言葉と社会1 言葉とコミュニケーション ・文法の小窓1 言葉の単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語学習の約束を確認し関心をもつ。</li> <li>・言葉をとおして自分と相手を理解する。</li> <li>・文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。</li> <li>・自分の考えを相手にわかりやすく説明する。</li> <li>・対面・非対面コミュニケーションについて特徴を理解し、コミュニケーション能力について考える。</li> <li>・言葉のさまざまなまとまりを理解する。</li> </ul>
	2 単元「論理を知る」 ・自分の脳を知っていますか ・資料をもとに紹介文を書く ・楷書で書こう（硬筆） ・言葉の小窓1 日本語の音声 ・漢字の広場1 漢字の部首 ・構成を考えて話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成を捉え、要約に生かす。</li> <li>・資料を比較して共通点と相違点を見つけ、考えの中心を明確にして段落構成を考える。</li> <li>・正しい字形に注意しながら、作品を仕上げる。</li> <li>・日本語の音の特徴を理解する。</li> <li>・漢字の部首について理解を深める。</li> <li>・相手の反応を見ながら話す内容を工夫して伝える。</li> </ul>
	3 単元「世界をひらく」 ・ベンチ ・全ては編集されている ・写真で「事実」を表現する ・漢字の広場2 画数と活字の字体 ・材料を整理して案内文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章から情報を集める方法を身に付ける</li> <li>・メディアリテラシーについて考える。</li> <li>・写真の特徴を理解し、多様な活用の仕方を考える。</li> <li>・画数と字体について理解を深める。</li> <li>・目的や意図を理解して案内文を書く。</li> </ul>
	4 単元「情報を得る」 ・持続可能な未来を創るために ・森には魔法使いがいる ・文法の小窓2 文の成分 ・根拠を明確にして意見文を書く ・広告の情報を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会の実現に向けて、課題を発見する。</li> <li>・問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。</li> <li>・文の成分の役割について理解する。</li> <li>・具体例や体験を根拠にして意見文を書く。</li> <li>・広告を見るときの観点を知り、特徴を理解する。</li> </ul>
後	5 単元「古典にふれる」 ・昔話と古典 ・物語の始まり ・故事成語 ・蜘蛛の糸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典にはさまざまな作品があることを知る。</li> <li>・物語を調べ、そのおもしろさを理解する。</li> <li>・故事成語を調べ、由来や意味を理解する。</li> <li>・近代の小説や物語を読む。</li> </ul>
	6 単元「豊かに想像する」 ・河童と蛙 ・オツベルと象 ・随筆を書く ・言葉の小窓2 日本語の文字 ・書きぞめを書こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面と描写を結び付けて読む。</li> <li>・構成や展開、表現の効果について考えをもつ。</li> <li>・身近な経験をまとめて、叙述の仕方を考える。</li> <li>・日本語の文字の特徴を理解する。</li> <li>・大きさ、字形に気をつけて、配置良く書く。</li> </ul>
	7 単元「関係を捉える」 ・子どもの権利 ・言葉と社会2 イメージを言葉にする ・調べた内容を書く ・漢字の広場3 漢字の音と訓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験と関連付けて読み、自分の考えをまとめる。</li> <li>・浮かんだイメージを図や短い単語でメモする。</li> <li>・自分の考えと比較しながら話を聞き、内容を捉える。</li> <li>・漢字の音と訓について理解を深める。</li> </ul>
	8 単元「考えを確かめる」 ・言葉がつなぐ世界遺産 ・報告文を整える ・文法の小窓3 単語のいろいろ ・発言を結びつけて話し合う ・漢字の広場4 熟語の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いと考え、事実と意見の関係を捉える。</li> <li>・読み手の立場に立って、文章を整える。</li> <li>・自立語と付属語など分類の基準を理解する。</li> <li>・話題を意識して、発言を結びつけて話し合う。</li> <li>・熟語の構成の基本的な型を知る。</li> </ul>
	9 単元「表現を捉える」 ・四季の詩 ・少年の日の思い出 ・言葉の小窓3 方言と共通語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。</li> <li>・語り手に注目して読み、考えを確かなものにする。</li> <li>・方言と共通語の特徴について知る。</li> </ul>